

会 議 録

会議名 (審議会等名)	相模原市在宅医療・介護連携推進会議 第4回高齢者救急等に関する部会		
事務局 (担当課)	在宅医療・介護連携支援センター 電話042-769-9250(直通) 医療政策課 電話042-769-9230(直通)		
開催日	令和4年1月28日(金)～2月10日(木)		
出席者	委員	9人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局		
公開の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	
公開不可・一部不可の場合は、その理由	書面会議のため		
会議次第	<p>1 議 題</p> <p>(1) 部会長の選出について</p> <p>(2) 救急連絡シートについて</p>		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の意見、●は事務局の説明)

(審議を書面等で行った理由)

新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために、委員等が一堂に会する方法により会議を開催することが困難であったため、書面により部会委員の意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

1 議 題

(1) 部会長の選出について

委員の互選により、部会長は水上委員とされた。

なお、相模原市在宅医療・介護連携推進会議部会設置要領第6条に規定する部会長の職務代理については、水上部会長の指名により、日高委員とされた。

(2) 救急連絡シートについて

事務局より説明資料の送付を行い、書面により審議を行った。

(斉藤委員) アンケート内容については、問3は自由回答なのか。

(事務局) 自由回答である。

(斉藤委員) 普及、周知の徹底で活用が進むのか。

(事務局) 救急連絡シートを令和3年3月から4月にかけて配布し、アンケートの実施が同年8月から9月にかけてであることから、各施設において活用に向けた検討そのものが進んでいなかった面が否めないものと考えている。そのため、活用の意義などを改めて説明する機会が必要と考えている。

(斉藤委員) 内容、取組についてはとても良いと思うので、方策の検討も必要であると思う。

(事務局) 普及方策について、改めて委員や施設からの意見を伺っていきたい。

(渡辺委員) 連絡シートの活用が2割と多くはないが、「24%がスムーズな対応」がメリットといていることは評価できる。救急応需側(病院)や救急隊で活用できているなど、具体的事例を示し、病院等への周知、普及も必要と考える。

(事務局) 救急隊にも活用の実態を確認し、好事例については施設や病院へも周知を図っていきたい。

審議の結果、救急連絡シートについては、高齢者施設等への再周知を行い、さらなる普及を目指すこととなった。

以 上

令和3年度 相模原市在宅医療・介護連携推進会議
高齢者救急等に関する部会 委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	水上 潤哉	一般社団法人相模原市医師会	部会長	出席
2	中野 太郎	公益社団法人相模原市病院協会		出席
3	渡辺 加代子	公益社団法人神奈川県看護協会相模原支部		出席
4	斉藤 正和	相模原市医療ソーシャルワーカーの会		出席
5	日高 明夫	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会	職務代理	出席
6	澤野 将文	相模原市介護老人保健施設協議会		出席
7	八木 克介	相模原市認知症高齢者グループホーム連絡会		出席
8	土肥 直樹	一般社団法人相模原市医師会		出席
9	松本 豊	公益社団法人相模原市病院協会		出席